

日本創生 九州から先導



福岡県は公用車に九州で初めてF C V（燃料電池自動車）を導入。
トヨタ自動車製「M I R A I」のハンドルを握る小川洋福岡県知事

「オール九州」でアクセル踏み込む

安倍晋三政権の「地方創生」がいよいよ動き出す。地方活性化というと拠点の立地や域外需要の喚起など、とかく外から人や仕事を呼び込む施策が目が行きがち。しかし「地方創生」においては地方こそが主役。自らがこの政策をチャンスと捉え、どう取り組むかが重要な。官民が一体となって新産業育成と同時に、現在ある地場企業の活性化や持続的な発展、雇用をいかに後押しするかがカギとなる。

西部特集
地方創生九州
2015



九州地域戦略会議で地方創生の先導を
宣言する麻生泰九経連会長（左）

日本の創生をこの地から先導する。2014年11月に九州地域戦略会議の共同議長・福岡県知事・山口県知事・熊本県知事・鹿児島県知事・沖縄県知事・分県知事・同麻生泰九経連会長が「九州経済連合会」で行った「地方創生九州宣言」に盛り込まれた。また、九州ではすでに「オール九州、産学官一体で取り組む協議会」を持つ。山口は豊かな自然に恵まれ約1600万人が暮らす。フードアイランド九州といわれるほど農林水産業が盛んだ。同時に自動車産業をはじめとした幅広いモノづくり産業の集積が強みとなっている。「九州はひとつ」の理念のもと、ポテンシャルを生かし官民が一体となり地方創生に乗り出す。

九州地域戦略会議では14年12月に四つの地方創生プロジェクトチームを立ち上げた。プロジェクトチームはいずれも各県知事や経済団体の役員など20130人の官民一体のメンバーで構成。これほどの規模で官民一体のプロジェクトを進めるのは全国でもめずらしいという。しこの場づくり、教育環境づくり、出産などの希望が叶う社会づくり、安心安全な暮らしづくりの各テーマごとに議論を進め、15年秋の会

議で最終報告を行う。「最終的には具体策を実現レベルまで持つべく、予算が付くような具体的なアイデアの勝負となる」（九州経済連合会）。

また、九州ではすでに「オール九州、産学官一体で取り組む協議会」を持つ。山口は豊かな自然に恵まれ約1600万人が暮らす。フードアイランド九州といわれるほど農林水産業が盛んだ。同時に自動車産業をはじめとした幅広いモノづくり産業の集積が強みとなっている。「九州はひとつ」の理念のもと、ポテンシャルを生かし官民が一体となり地方創生に乗り出す。

四つとは、次世代自動車産業拠点として競争力を強化しF C Vの市場投入を進めるクリーンエネルギーと環境分野。医工連携などの成果を背景とした医療・ヘルスケア・コスメ分野。さらに全国2割の農産産出額を持つ農林水産業・食品分野。海外からの観光客増加で成長が期待される観光分野だ。各分野は健康スマートシティやヘルスツーリズム、食と観光グリーンツーリズム、スマート農業と、相互に連携した成長を目指す。

原動力は北九州。動かすのは世界。

100TH
ANNIVERSARY
SINCE1915

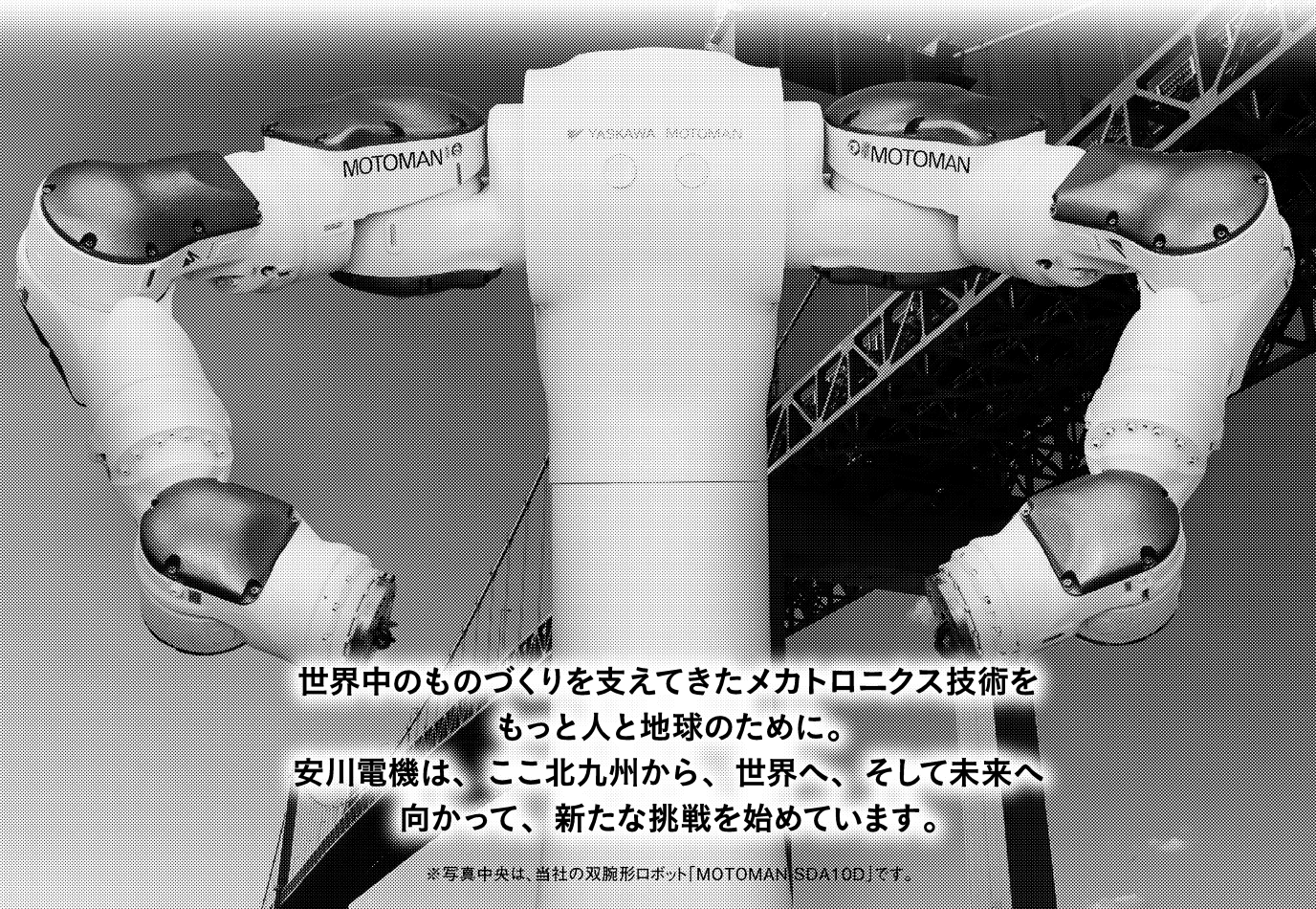


ロボットがロボットをつくる

福岡県北九州市・ロボット工場

ロボットがインバータをつくる

福岡県行橋市・インバータ工場



世界中のものづくりを支えてきたメカトロニクス技術をもっと人と地球のために。
安川電機は、ここ北九州から、世界へ、そして未来へ向かって、新たな挑戦を始めています。

※写真中央は、当社の双腕形ロボット「MOTOMAN SDA10D」です。



太陽光電池パネルの
ものづくりをささえる



風から効率よくエネルギーをつくる

YASKAWA

株式会社 安川電機

北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 安川電機 検索